

## 『落葉松』を表情豊かに！

10周年まで あと 124日 (練習回数は あと 15回)

11月22日の練習から

(録音がよく聞き取れず不十分な記載になることをお許し下さい。48、49号を参考に記載)

- 落葉松：**
- ・8分音符と3連符を正確に区別して歌うこと。
  - ・表情豊かに大切に歌うこと。
  - ・息を少しずつゆっくり出すこと。
  - ・テンポ感を持って歌わないと、どんどん遅れる。
  - ・p32 (から—まつの一あきのあ—めに) の「の一」は、ぎりぎりまで伸ばすこと。「ま」は静かに入ること。「ら—」は大きくなりすぎない事。出だしが大事。
  - ・p32 (わたしの—てが—) の「わた」は8分音符だが、遅くならない事。
  - ・p33 (からまつの一よるのあ—めに) の「に一」はぎりぎりまで伸ばしてブレス。
  - ・p35 (からまつの一) は、mfで迫力をもって、「ら—」で待つ感じ。焦らないで。
  - ・p36 (からまつの一ことりのあ—めに—) の「ことりのあ—めに—」はfで「あ—」でアクセント。fが続き(ぬれる—)で、少しづつかすかになりブレスして次のmpにつなげる。
  - ・p36下の段の(めが—)の「め—」はかなりテヌートして(ぬれる—)で元の速さに。
  - ・p37 ハミング隊は、アルトと無関係で出てこないで、アルトを生かして。
  - ・p39 (から—まつの一) はfでアルトとソプラノが響きを上げてがっちり来ないと盛り上がらない。よく準備して入ること。次の(ひのあるあめに—)の「ひ」の入り方に注意し揃えること。
  - ・p40 (めが—) はテヌートでちょっとだけ緩める。
  - ・p41 (めが—) はかなりテヌート。指揮を見て合わせること。
  - ・p42上の段(わたしの—)は一個づつ歌い、フェルマータ。
  - ・p42下の段(こころが—)も一個づつ歌い、フェルマータ。(ぬれる—)も一個づつでフェルマータ。指揮を見る事。
  - ・最後のハミングは、pでゆっくり一個づつで長く p p pで終わる。切るところは指揮を見て。
  - ・この歌は「雨」と「ぬれる」がキーワード。
    - (秋の雨) … 「手」がぬれる
    - (夜の雨) … 「心」がぬれる
    - (日のある雨) … 「思い出」がぬれる
    - (小鳥の雨) … 「目」がぬれる。

4. なぎさ歩めば：次号に掲載。

5. かごにのって：次号に掲載。

見学にいらして下さい。